

## 令和5年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	NPO法人田万川地域サポート21	代表者	齋藤 博英	法人・事業所の特徴	『ぬくもり』では理念をもとに、地域に密着した介護サービスを提供できるよう日々努めています。多様なニーズに対応できる『小規模多機能ホーム』では、利用者様だけでなく地域や家族を支援する福祉活動を続けています。
事業所名	小規模多機能ホームぬくもり	管理者	津守 美江子		

出席者	市町村職員	知見者	地域住民/団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	1人	2人	2人	1人	2人	4人	1人	16人

項目	5年度の改善計画	5年度の改善計画に対する取組み・結果	意見	令和6年度改善計画（確定）
A. 事業所自己評価の確認	管理者・主任/ケアマネ・職員の普段からの声掛けや電子媒体やノートの連絡、会議を通じた情報共有を徹底し、引き続きチームとして統一した介護サービスを提供できるよう努力する。	毎月の小規模多機能ホーム会議で声かけを行ったり、ノート、電子媒体の活用とハイブリッドで柔軟に取り組み、情報の漏れの削減の効果を感じている。	特になし	朝夕の申し送りが漏れない引継ぎとして基本であると再認識し、本年度は改めて申し送り簿を有効に使用し、引継ぎは利用者ごとに確実に申し送りを行うことを徹底する。
B. 事業所のしつらえ・環境	引き続き室内の季節感ある飾りつけ、衛生面管理（定期の掃除と消毒）を実施する。	毎日の掃除に加え、季節の飾りつけなどに日々気を付けた。職場環境改善を小規模多機能ホームとグループホーム職員で取り組み、忘れられがちな物理的な掃除ポイントや人的環境の改善（声の大きさ、落ち着いた態度、口調、清潔感等）にも取り組んだ。	・バリアフリーの環境が当たり前の中、段差もありその中で皆さんが安全に生活されているのは素晴らしいことと思います。 ・施設上のことで分からない。	引き続き室内の季節感ある飾りつけ、衛生面管理（定期の掃除と消毒）を実施する。
C. 事業所と地域のかかわり	普段から訪問時、買物等に出向いた際に、地域の方との関係づくりを意識する。	普段から面識を作り、利用者の近所の親戚、知り合いや薬局などの方と情報共有を密にとり（体調面の共有、多機能通いサービス時の面会日時の取り決め等）、本人の生活を支えた。	特になし	普段から訪問時、買物等に出向いた際に、挨拶を含め地域の方との関係づくりを意識する。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	地域関係者の会議への参加や、たまらぼ等による地域の情報収集に取り組み、要介護度が重度化する前のアプローチを積極的に行う。	出来る限り地域との接点を日頃より心がけた。近所づきあいのサポート（お寺さん、お茶会の本人への連絡、郵便物の受け取り、身元引受人と近所との中継点など）。季節ごとのお祭り、ドライブや買物、地域の花見、田植えや稲刈りなど。	気になる方を社協や行政に繋ぐ等も、かかわりの一つでは。すぐの解決策にはならないことも多いが。	地域関係者の会議への参加や、たまらぼ等による地域の情報収集に取り組む。また、地域の行事への参加を感染症の危険性が低い時期は積極的に実施する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	引き続き、小規模多機能ホームの現状を運営推進会議の場でできるだけ多く紹介できるよう工夫し、サービスに対する意見を頂き、一層のサービス向上に繋げる。	行政、知見者、地域の方々、同業の方などとぬくもりの実態を分かり易くお伝えし、意見交換ができた。	なごやかな雰囲気の中で開催されている運営推進会議はとてもいいと思いました。	引き続き、小規模多機能ホームの現状を運営推進会議の場でできるだけ多く紹介できるよう工夫し、サービスに関する意見交換を活発に行いサービス向上に努める。
F. 事業所の防災・災害対策	防災への対応は福祉関係サービス分野では特に重要であることから、令和5年度も協力体制整備への協力を含め、前年計画を引き続き継続して行う。	例年通り、予定に沿って実施した。	バリアフリーの施設の中でも避難訓練は大変なので、是非一度訓練の様子を見学したいと思います。	防災への対応は福祉関係サービス分野では特に重要であることから、令和6年度も協力体制整備への協力を含め、前年計画を引き続き継続して行う。